

迎春

すばらしいまちを皆でつくります



播磨町長

佐伯 忠良

新年あけましておめでとございます。皆様にはすがすがしく新春をお迎えのことと心からお喜びを申し上げます。昨年は、二十世紀の多くの課題を払拭し、新しい世紀を平和ですばらしいものとしていきたいと希望と期待をしていましたが、国内外において数多くの大きな事件が発生し、私たちを震撼させました。そして、国内経済は依然として立ち直りの気配はなく、多くの企業倒産や再編により失業者の増加など、国民生活が一層深刻となつてきております。こうした中、我がまち播磨町も多くの課題を抱えています。何事にも後退した姿勢ではなく、正面から積極果敢に取り組んでいきたいものと意を新たにしております。町の総合計画のキャッチフレーズ『古代から輝く未来へ！ みんなでつくるまちはりま』の実現化が究極の目標と考えております。本年の具体的施策として、

- 一、待望のJR土山駅橋上化と駅前広場など関連事業をぜひとも完遂すること。
 - 二、海岸部の活性化を目指して、ウォータ―フロント整備に着手すること。
 - 三、大中遺跡周辺および、仮称『県立考古博物館』の誘致を具体化すること。
 - 四、防災対策として、水田川上流部の早期着手すること。
 - 五、公共下水道の早期完了を目指すこと。
 - 六、防犯対策として派出所などの拡充を図ること。
 - 七、子育て支援ならびに教育の充実を図ること。
 - 八、介護保険の充実とグループホームの建設に目途を立てること。
 - 九、ボランティア活動の促進を図ること。
 - 十、地域コミュニティの活性化を図ること。
 - 十一、住民と対話を継続して、連携協働化につなげる。
- などのほか、課題は山積みしていますが、住民の皆様のご協力を得て頑張っていきたいと思っております。本年もどうかよろしくお願ひ申し上げますとともに、皆様にとって良き年でありますようご祈念して、年頭のごあいさついたします。

開かれた議会を目指して



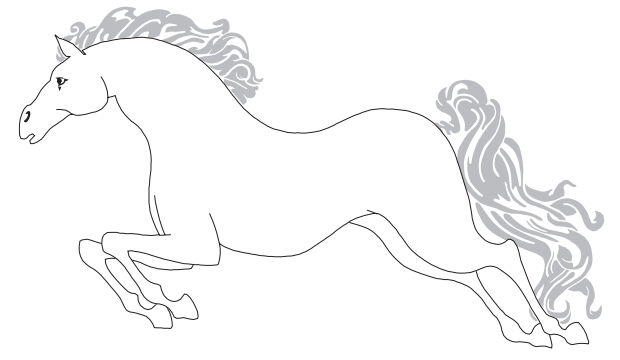
播磨町議会議長

松本かより

新年あけましておめでとございます。平成十四年の新春にあたり、皆様方には、ご家族おそろいで健やかに良き新年をお迎えになられたことと、心からお喜び申し上げます。昨年中は温かいご支援とご協力をいただき、議員一同深く感謝いたしますと共に、本年も相変わらずのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。さて、昨年はアメリカ・ニューヨーク州などでの同時多発テロ事件、炭疽菌事件、国内での狂牛病の発生など、多くの事件が起き、世界内外から多大な影響を受け、私たちの生活に大きな打撃を受けました。社会・経済も依然として不透明な状況にあり、失業率の増加や金融不安などとともに、急激な少子化、高齢化、情報化、国際化などの進展に伴い、経済構造の変化や住民ニーズの多様化に対応するため、政治・経済・行政全般にわたる構造改革が迫られています。

地方分権の推進により、明治維新以来続いてきた、国と地方自治体との役割関係が大きく様変わりし、自己の決定権と責任は、今後ますます大きくなってまいります。このような状況の中で、私たち議会も複雑・多様化する政策に、的確な意思決定と監視機能をこれまで以上に充実させる必要があります。また、議会の活性化を進めるということも重要な課題であります。昨年四月より施行されています情報公開条例などを通じて住民に開かれた議会を目指してまいりたいと考えております。さまざま課題を抱えた中で、この播磨町が豊かで住みやすい町となるよう、議員が一丸となって議会の責任を果たしていきたいと考えています。今後とも、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げます。本年が皆様方にとって幸多い年でありますようご祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

公職選挙法により、政治家は、年賀状などのあいさつ状を出すことが禁じられています。ご理解とご協力をお願いいたします。



- あけましておめでとございます
- | | |
|-----|-------|
| 議長 | 松本かより |
| 副議長 | 上田高司 |
| 議員 | 小西茂行 |
| | 藤田修博 |
| | 永谷久修 |
| | 田中利春 |
| | 金岡美保子 |
| | 中野美保子 |
| | 浅原利一 |
| | 佐伯優 |
| | 河野尚博 |
| | 宮尾尚子 |
| | 古川美智子 |
| | 松本正 |
| | 塩沢岩光 |
| | 山下喜世治 |
| | 山岡喜世治 |
| | 孝岡喜世治 |
| | 清水ひろ子 |
| | 杉原延文 |
| | 浅原博 |
- (議席順)